

## NTTアイティ Web会議「MeetingPlaza（ミーティングプラザ）」

テレビ会議の悩みをWeb会議が解消  
「多拠点」「中国進出」の情報共有インフラに

「テレビ会議を利用中のお客様から、当社のWeb会議『MeetingPlaza』が選ばれている」と話すNTTアイティの栗原信氏。とはいえ、リプレースではなく、ユーザーの目的は両者の融合だ。互いのメリットを生かし合うことで、ビジュアルコミュニケーションの活用範囲が大きく広がる。

テレビ会議を活用する企業で“持ち歩いて使いたい”“海外拠点と国内をつなぐ”、あるいは小規模拠点や店舗など“多拠点に展開したい”といった新たなニーズが生まれている。

「既存のテレビ会議をベースに、活用範囲を広げたいというニーズが高まっている。だが、これらはテレビ会議が苦手とし、Web会議が得意とするシーン。そこで、当社のWeb会議『MeetingPlaza』とテレビ会議を連携させることで、お客様の課題を解決している」。そう話すのは、NTTアイティの栗原信氏だ。

Web会議は、低コストに多拠点へ展開でき、場所の制約を受けない——ノートPCを持ち歩く、自宅のPCからログインする等——のが利点だ。また、ASP/SaaS型のWeb会議サービスならば、導入・展開スピードはさらに早まる。

Web会議もテレビ会議も、それぞれの特徴を理解し、導入目的や業務環境に合わせて使い分けことが肝要だが、両者の長所を融合させれば利用シーンはさらに広がることになる。

MeetingPlazaにはサーバー導入型

とASP型の2種類があり、前者の場合はゲートウェイ装置を介してマルチベンダーのテレビ会議と接続する。ASP型の場合はもっと簡便だ。PCに専用のUSBキーを挿すだけでそのPCをゲートウェイ装置と化し、これを介してテレビ会議と接続できる(図表)。

栗原氏によれば、現場社員や店舗などに展開したMeetingPlazaと、幹部が使っているテレビ会議を接続し、役員会議に現場の生の情報を届けたり、出張中の役員がホテルからMeetingPlazaで参加するといった運用を可能にしているという。

なお、テレビ会議メーカーもPCから会議に参加するためのクライアントソフトを提供しているが、接続先の端末が同一メーカーに限られるのが難点だ。複数メーカーの端末とつながる“マルチベンダー対応”も、テレビ会議を拡張する場面でMeetingPlazaとの連携が選ばれている理由という。

グローバルな情報共有を支える  
“対中国”の手厚いサービスも

また「最近では海外拠点、特に中国からMeetingPlazaで国内のテレビ会



NTTアイティ  
MeetingPlaza事業部  
営業部長  
栗原 信氏



Web会議「MeetingPlaza」の画面

議に参加するケースが非常に増えている」とも栗原氏は話す。NTTアイティでは、同国のネットワーク事情を鑑み、香港のデータセンターを経由してより安定的な通信を行える「香港ルーティング」サービスをユーザーに無償提供している。こうしたきめ細かい対応も、同社の評価につながっているようだ。

「さらに安定した環境でMeetingPlazaが利用できるよう、本土内と直接専用線で結ぶサービスの提供も検討中」と、今後も中国進出企業のニーズに手厚く対応していく考えだ。

お問い合わせ先

**NTTアイティ株式会社**  
MeetingPlaza事業部  
TEL : 045-651-7555  
URL : <http://www.meetingplaza.com/>

図表 MeetingPlazaコネクタでWeb会議とテレビ会議をつなぐ

